

1 【重点対策加速化事業】 実施予定事業 [令和5～10年度]

この度採択を受けた重点対策加速化事業において、令和5年度～令和10年度の6年間で以下の事業実施を予定しています。

(単位：千円)

事業概要	事業量	総事業費	交付率	交付予定額
間接補助による太陽光発電導入事業【一般住宅】	457件、1,828kW	530,120	定額	127,960
間接補助による蓄電池導入事業【一般住宅】	457件、2,285kWh	548,400	1/3	118,057
間接補助による太陽光発電導入事業【民間施設】	100件、1,100kW	286,000	定額	55,000
間接補助による蓄電池導入事業【民間施設】	20件、400kWh	96,000	1/3	25,332
PPA方式による太陽光発電導入事業【公共施設】	8件、280kW	72,800	1/2	36,400
PPA方式による蓄電池導入事業【公共施設】	8件、160kWh	38,400	2/3	20,266
公共施設の新築ZEB設計・建設事業	1棟	136,650	3/5	81,990
公共施設に調光型LEDを導入	7施設	149,369	1/2	73,033
合 計		1,857,739		538,038

2 【重点対策加速化事業】 令和5年度 実施予定事業

令和5年度は、公共施設において以下の事業を予定しています。

(単位：千円)

事業概要	事業量	総事業費	交付率	交付予定額
公共施設の新築ZEB設計・建設事業	1棟（設計）	1,650	3/5	990
公共施設に調光型LEDを導入	7施設	149,369	1/2	73,033
	中央公民館	23,100		11,363
	ゆうふる tanaka	47,190		22,953
	御牧乃湯	13,530		6,556
	湯楽里館	22,770		11,074
	明神館	12,650		6,149
	勤労者会館	7,909		3,921
	市役所別館	22,220		11,017
合 計		151,019		74,023

取組内容

- 【エリア変更】 ■ 太陽光発電設備・蓄電池の導入（一般住宅・民間施設・公共施設）
※エリアを田中駅前・駅前通り・田中商店街付近に一旦絞り、合意をとっていく
- EV充放電器 ■ EV急速充電器 ■ EV公用車 ■ EVパッカー車
 - 太陽光発電設備・蓄電池の導入（エコクリーンとうみ）
 - 市営住宅への太陽光発電設備・蓄電池及び一括受電の導入（田中中央・田中・常田・日向が丘団地）
 - 田中商店街の街灯LED化
- NEW!**
- NEW!**

取組による波及効果

中心市街地の賑わいおよび移住定住の創出

- 観光で首都圏などから来訪した若年夫婦などに対し、市の「玄関口」で脱炭素化の積極的な取り組みをアピールしていくことで先進的なイメージを持ってもらい、移住定住に繋げ、中心市街地のドーナツ化に歯止めをかける
- 中心市街地エリアで徹底的な脱炭素化を図り、市民全体に対して意識浸透を行うことで郊外への波及効果を狙う

エコタウンとうみの“シンカ”

- ゴミ削減に対する取組と脱炭素化の取組を組み合わせることで実施することによりゴミ減量などでもともと高い環境意識を刺激し、地球温暖化に対するモデル区の住民の問題意識を高め、市民を巻き込みながら脱炭素化をさらに加速していくための土台作りを行う

4

【脱炭素先行地域づくり事業応募に向けて】湯の丸高原・池の平湿原の取組について

取組内容（湯の丸高原・中心地）

- 【検討中】 ■ マイクログリッド化（自営線1.2km）
- 【検討中】 ■ 大規模蓄電池1基（2MWh）
- 太陽光発電設備・蓄電池の導入（民間10施設・公共5施設）
- コジェネ（室内プール等）
- EV充放電器 ■ EV急速充電器
- 再エネ一体型LED街路灯
- NEW!** ■ バイオマスボイラー（室内プール等）

取組内容（池の平湿原周辺）

- EVバス
- 【区間変更】 ■ マイカー規制（区間を小諸・高峰温泉まで延伸）
- 【場所変更】 ■ 風力発電（湯の丸・中心地から移動）
- NEW!** ■ 太陽光発電・蓄電池（池の平湿原IC・トイレ）
- NEW!** ■ ZEB化（池の平湿原IC・トイレ）

取組による波及効果

国立公園の保護と利用の好循環

- マイカー規制を実施することで子供たちの未来のため国立公園の豊かな自然環境の保護に繋げていく
- 全国的にも珍しいEVバスでのみ入山できる特別な場所として演出することで国立公園の価値を高め、利用推進を図る

スポーツ選手の市内周遊の広域化・滞在日数の延伸・経済の活性化

- EVバス等の二次交通を運行を行い、スポーツ選手の行動可能範囲を広げ、市内中心市街地等への周遊や滞在日数の延伸に繋げる
- EVバスの回送などを利用し、食料や日用品、お土産品などを運搬し、スポーツ選手に対し、移動販売を行うことで購入意欲を高め、経済活性化を図る

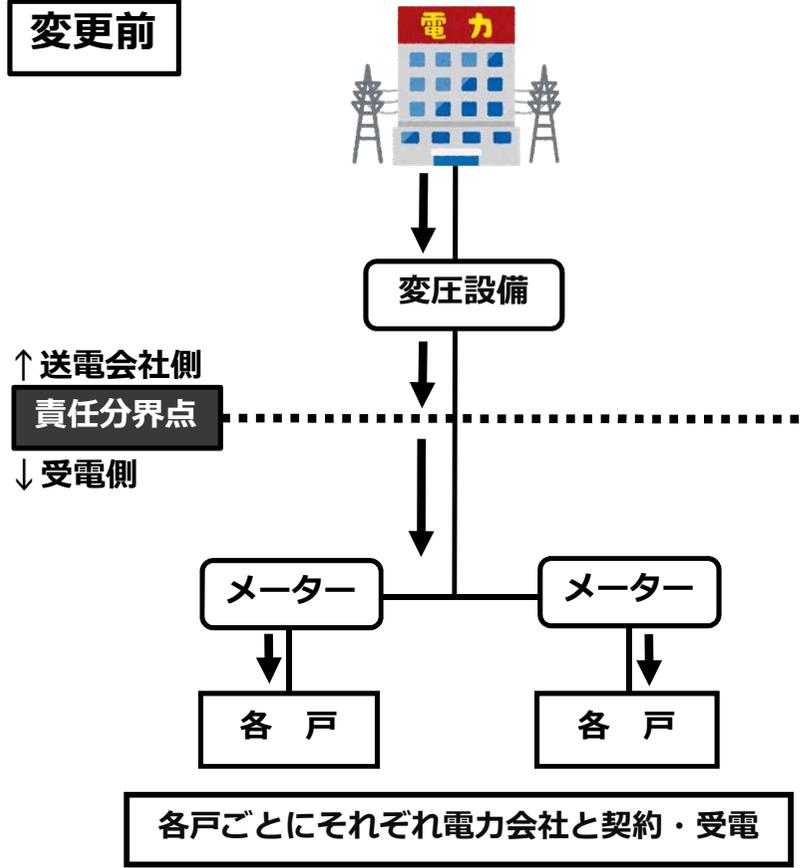
5 【脱炭素先行地域づくり事業応募に向けて】集合住宅（市営住宅）の一括受電について

通常、集合住宅は各戸で電力会社と契約（低圧契約）を結んでいる。

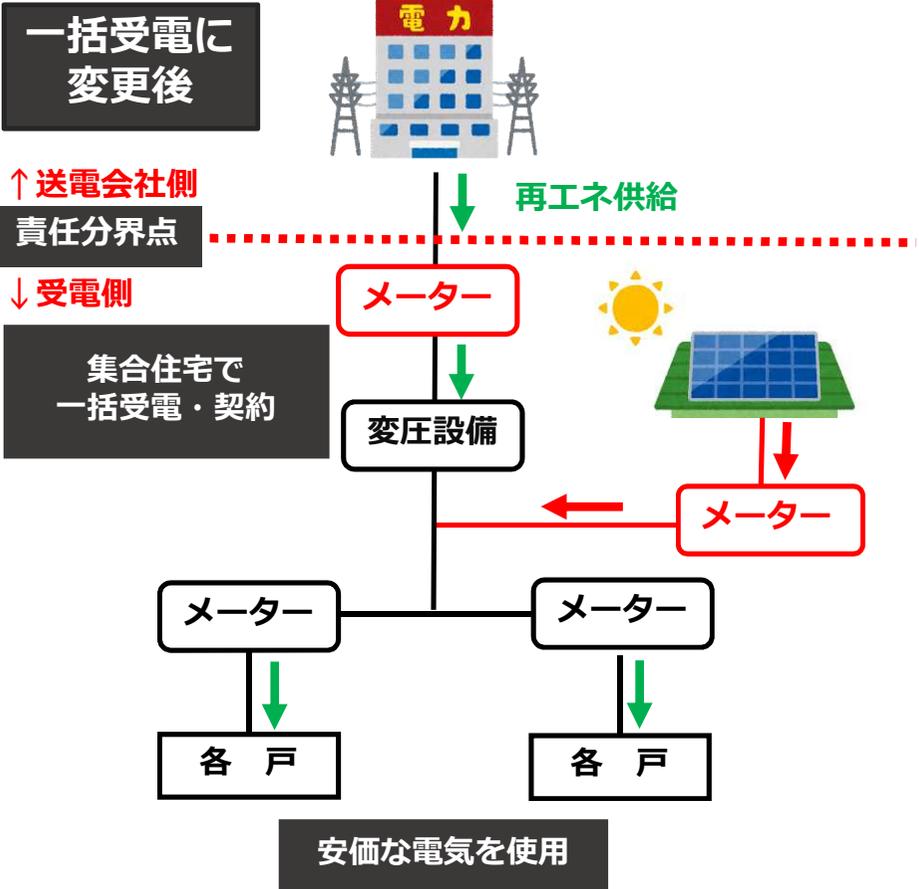
「一括受電」は、工場やテナントビルなどと同じ契約（高圧契約）に変更し、集合住宅の安価な電気を一括購入することで、安価な電気料金で配電を行う仕組みである。この仕組みで再エネの電気を購入することで戸建ての方でなくても比較的安価な料金で脱炭素化に協力してもらうことができる。

さらに、太陽光発電設備を屋根等に設置し、地産地消の発電も行うことで脱炭素化を図りながら安定的な電力供給を行うことができる。

変更前



一括受電に変更後



6 【脱炭素先行地域づくり事業応募に向けて】地域ポイントシステム（今後、導入を検討している取り組み）

市の取り組む脱炭素化事業を、より多くの市民の皆様にご理解、ご参加いただくために地域ポイントシステムの導入を検討しております。

1. システム導入の目的

- 地域住民に対する脱炭素的取り組みの啓蒙
- ポイントを用いた消費行動の促進での地域経済への貢献

2. 使用媒体

スマホアプリの導入等を検討

3. ポイント付与の対象とする事例

例えば…

- エコ商品やリサイクル商品などの購入
- リサイクルへの協力
- 使用済みのクリーニングハンガーを返却
- EV公共交通機関の利用
- 省エネ家電への買い替え
- プラスチック製カトラリー類の受け取りを辞退
- フードバンクへの寄付



など

申請概要

〈申請者〉東御市

〈共同事業者〉脱炭素推進機構株式会社・株式会社アドバンテック

〈事業実施期間〉交付決定の日～令和6年1月31日

〈事業内容〉

①脱炭素事業の検討

- ・地域のエネルギー需要及び供給できるエネルギー把握のための調査・検討
- ・事業実施体制の構築
- ・事業内容についての地域説明及び合意形成
- ・営農型太陽光発電設備導入についての調査・検討、事業性の評価
- ・「エリアンサス」、「ジャイアントミスカンサス」などバイオマス作物の木質バイオマス発電への利用可能性の調査・検討

②地域電力会社に関する検討

- ・地域電力会社設立に向けた収支及び電力需給バランスのシミュレーション
- ・地域電力会社の需給管理システム構築のための調査及び検討

③再エネ・省エネ設備導入に関する調査

- ・脱炭素モデル地区へのパネル設置に向けた合意形成・調査・事業計画策定
- ・民間企業等のZEB改修に向けた調査・省エネ計算・基本設計

8 地域脱炭素実現に向けた再エネの最大限導入のための計画づくり支援事業

<直近の取組>

(1) 先進地視察研修の実施

- ・ 営農型太陽光発電施設
- ・ バイオマス植物 など

(3) 委員の皆様からのご意見の集約

- ・ メールや書面、お電話等での意見の聞き取り など

(2) 広報・啓発活動

- ・ SNAを活用した広報活動の実施
- ・ 講演会の開催 など

9 今後の会議開催予定

第1回（7月3日）	協議会の設立及び令和5年度の脱炭素事業について
第2回（8月中下旬頃）	脱炭素先行地域づくり事業の内容の検討
第3回（11月中旬頃）	脱炭素先行地域づくり事業採択結果を受けての展開について
第4回（3月上中旬頃）	令和5年度の活動報告及び令和6年度の事業検討